

「堂々川；人も自然も生きている II」



2022（令和4）年7月19日 堂々川ホテル同好会情報誌 2022年度第3号（創刊209号）

1. 台風が連れてきた戻り梅雨の合間の7月17日、18人の参加者で砂留整備、草刈り、彼岸花の球根植栽、松枯れの木の伐採、ごみ拾いを行った。
2. 梅雨時期で草の成長は著しく背丈以上にも伸びている。1番～鳶ヶ迫谷入口迄と5番砂留下方に彼岸花球根は1800球を超えて植栽した。松枯れも目立ち堂々川最高の景観を誇る鳶ヶ迫砂留入口の2本を伐採した。道路脇の草刈りをするとも瓶・缶が湧き出て危険。相変わらずポイ捨てが多く警察に相談予定
3. 草の伸びに負けている砂留整備は福山城400年記念行事に参加しているので頑張る。裏面に砂留整備の写真などを載せている。
4. 定例会以外に時間が確保できた数人の会員が草刈りや猪対策の囲いをしている夏の作業なので暑さ対策にアイスの要望も出たが、熱中症予防の飲み物で代用
5. 猪対策で面白いアイデアが出た。猪は電気柵の電線を覚えており通電が不要
6. 目で見る事例



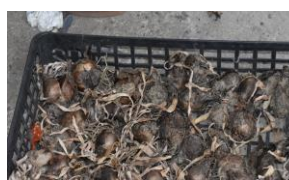
7月定例会参加者



堂々川の景観を乱す枯れ松伐採



彼岸花球根補植



夏水仙の球根



草刈り



猪防御対策 電線及びテープで囲い



ハンマー式草刈り機活躍

7.次回定例会

8月21日（日曜日）集合場所 1番砂留 8:00~10:30

作業内容：彼岸花植栽地の草刈り 彼岸花関連作業 ごみ拾い

8. 発行責任者 堂々川ホテル同好会 会長 中山晋一

「この活動は一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けて実施しています。」

会の活動テーマ「ホタルと花と砂留と」

私たちは、活動テーマを定めて会の活動を進めています。既にホタルは昨年福山 NO.1 の里、彼岸花は広島県 1 番の里と宣言をしました。それにともない大勢の見物客の来訪があり、マスコミ、地域の皆さん、広島史跡研究会等から見学や取材申し込みがあります。ホタルと花は皆さんに覚えてもらいましたが「国の登録有形文化財の砂留」つまり 1 番から 6 番砂留、右岸の鳶ヶ迫砂留はほとんどの人が素通りです。ここに注目して、私たちは「福山城 400 年博 EXSP2022」市民企画事業に応募し採択されました。11 月 30 日までに砂留を整備し、その成果を DVD に記録します。2 月から砂留の整備をはじめ、4 月 1 日には TSS テレビで現地ロケされ 12 分間放映されました。この活動の中での貢献や平日頃の環境活動で役員の渡辺文夫さんはふくやま環境賞個人賞を貰われています。

以下は 10 月 17 日の整備写真や砂留に関する写真の一部です。



1 番砂留



2 番砂留



3 番砂留



4 番砂留



5 番砂留



↓奥の砂留一鳶ヶ迫砂留全景



堂々公園 家族連れ水浴び



6 番砂留 1 カ月放置で草が勝つ



鳶ヶ迫砂留整備 4 月